

教育委員会の取組

①群馬県教育委員会の活動の活性化	担当所属	総務課
30年度個別評価	「達成」・「進捗」 3項目／3	
計画に記載された主な取組内容	平成30年度の実績	個別評価
(1) 法律に定められた教育委員会としての責務をしっかりと果たす。	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会会議、協議会、勉強会を開催 ○教育委員会会議の開催：12回（定例会12回・臨時会0回） 議案数60件 	進捗
(2) 知事等との意見交換や、地区別教育行政懇談会、学校訪問等の調査活動を積極的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 地区別教育行政懇談会1回 ○東部教育事務所管内のうち、桐生市、館林市、太田市、大泉町の各教育委員会の指導主事及び小中学校の校長と「外国籍児童・生徒の現状と課題」をテーマに意見交換を行った。 総合教育会議1回 ○教育行政に関する課題について意見交換を実施 学校訪問（視察）2回（3校） ○吾妻方面：吾妻中央高校 ○中部方面：伊勢崎興陽高校、伊勢崎市立赤堀小学校 個別の学校訪問（教育委員による視察）3回（3校） ○富岡高校、大泉高校、伊勢崎特別支援学校 先進県訪問調査1回 ○東京都千代田区立麴町中学校の取組等を訪問調査 	進捗
(3) 国で検討されている教育委員会制度改革の動きへの対応等、教育行政体制の確立に努め、教育現場の課題に迅速かつ的確に対応していく。	<ul style="list-style-type: none"> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受け、平成28年4月1日付けで新たな教育委員会制度に移行している。 	進捗

成果

- 教育委員による調査研究活動のテーマを「第3期群馬県教育振興基本計画」とし、関連する課題等について勉強会や意見交換を行った。
- 教育長及び教育委員が学校を訪問し、校長等から説明を受け授業を視察する「学校訪問」を引き続き行い、教育行政の円滑な執行に努めた。
- 千代田区立麴町中学校を訪問し、特別な予算を必要としない学校運営改善や、放課後を活用した『麴中塾』など、特色ある教育活動について調査することで、本県教育行政の参考とし、今後の発展に資することができた。
- 総合教育会議において、知事との意見交換等に取り組み、地域の教育課題やあるべき姿の共有に努めた。

結果・成果を示す実績値	基準値(年度)	H26	H27	H28	H29	H30
教育委員会会議の開催数（回） ※臨時会含む	13	13	13	12	12	12
学校訪問、地区別行政懇談会の実施数（回） （※個別の学校訪問を含む数）	5 （※－）	5 （※－）	4 （※－）	4 （※9）	3 （※5）	3 （※6）

今後の課題

- 教育委員会が住民に開かれた存在として信頼を得られるよう、会議の運営上の工夫を図るなど、住民の目に見える形で、教育行政を改善する取組を進めること。
- 個別課題について、教育委員が事務局と情報共有を図り、議論を深めること。

平成31年度/令和元年度の方向

- 第3期教育振興基本計画で掲げた新たな課題をテーマとした勉強会を充実させるなど、教育委員の調査研究活動の充実を図る。
- 総合教育会議において、教育委員会と知事とが十分な意志疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有することで、より民意を反映した教育行政を推進する。
- 地区別教育行政懇談会や教育事務所長との意見交換会を実施し、議論の場を設けるとともに、地域の個別課題について情報共有を図る。

教育委員会の取組

②広報・広聴活動の実施	担当所属	総務課
30年度個別評価	「達成」・「進捗」 4項目／4	
計画に記載された主な取組内容	平成30年度の取組実績	個別評価
[教育施策の実施状況や教育に関する情報についての適時適切な広報] (1) Webページを通じた情報提供を行う。	・「教育委員会ホームページ」を活用し、教育委員会に関する新規・更新情報を随時周知	進捗
(2) 広報紙を通じた情報提供を行う。	・教育ぐんまの発行 ○年3回(4・9・1月) ○小学4～6年、中学1～3年の各家庭、各関係教育機関等に配布(114,800部/回)	進捗
(3) 報道機関を通じた適時適切な情報提供を行う。	・教育委員会の各取組や公表すべき事項について、適切に報道提供を行い、広く県民に周知することができた。 ○報道機関への記者会見による情報提供件数：78件 ○報道機関への資料提供による情報提供件数：244件	進捗
(4) 教育施策に関する県民等からの照会や相談に的確に対応する。	・届いた案件に対しては、事務局内及び知事部局の関係各課と調整を図り、迅速に対応し、対応状況を把握 ○平成30年度教育委員会あて広聴受付件数：131件	進捗
成果 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙のリニューアル後、親しみのある紙面づくりを念頭に制作してきたことにより、読んでいる人の割合を毎年高く維持することができている。 ・報道機関を通じた教育行政に関する情報提供を積極的に行い、県民理解が促進できた。 ・保護者や一般県民からの教育に関する照会や相談に迅速に対応できた。 		

結果・成果を示す実績値	基準値(年度)	H26	H27	H28	H29	H30
報道機関【記者会見】への情報提供(件)	97	101	90	93	96	78
報道機関【資料提供】への情報提供(件)	205	217	215	225	201	244
「教育ぐんま」を読んでいる割合(%) (26年度は調査を実施していない。27年度から調査を実施。)	59	—	80	89	95	89

※報道機関への情報提供については、情報の内容に関わらず公開度合いを計る指標として設定している。

今後の課題	平成31年度/令和元年度の方向
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者や一般県民からの教育に関する照会や相談に迅速に対応するとともに、報道機関を通じた適時適切な情報提供を行うこと。 ・各所属の広報意識を高め、適切な時期に適切な広報媒体を用いて各事業をPRすることにより、各事業の効果の拡大を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各所属と協力し、教育行政が一般県民により理解されるよう、報道機関への情報提供だけでなく、ホームページや広報紙等の利用についても積極的に進めていく。 ・平成30年度に実施した広報アンケート調査の結果を各種広報に生かす。

教育委員会の取組

③教育行政の総合的・計画的な推進	担当所属	総務課
30年度個別評価	「達成」・「進捗」 3項目／3	
計画に記載された主な取組内容	平成30年度の取組実績	個別評価
(1) 第2期群馬県教育振興基本計画を実行性あるものとするため、教職員をはじめ、教育関係機関や団体等に対する周知を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 議会や附属機関の新任委員等に周知 ○計画冊子配布数：22部 県民に周知 ○計画冊子の県民センター有償頒布管理換数：35部 	達成
(2) 法律に基づき教育委員会が自ら実施する教育委員会の点検・評価について、本基本計画に沿って行う。	<ul style="list-style-type: none"> 第三者委員会「群馬県教育委員会の点検・評価委員会」（委員5名）を開催し、教育委員会における各施策・取組に関する意見を聴取した。 	進捗
(3) 教育委員会の点検・評価の結果を次年度以降の取組に反映させて改善していく。	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の点検・評価の結果を各所属にフィードバックし、課題の掘り起こしに役立てた。 第3期群馬県教育振興基本計画の策定にあたり、点検・評価結果を念頭において進めることができた。 	進捗

成果

- 第2期群馬県教育振興基本計画を文教警察常任委委員会や附属機関の新任委員に周知し、教育行政を議論する際の土台とすることができた。また、県民センターでの有償頒布において、在庫を適正に管理した。
- 点検・評価報告書の作成にあたり、次期計画を見据えて総括的な視点から意見を聴取することで、第3期群馬県教育振興基本計画策定に役立てることができた。また、各施策の最終ページに施策毎の主な取組結果を記載し、成果や課題を整理することができた。
- 教育委員会内の各所属及び関係部局と連携し、外部の有識者の知見も活用しながら第3期群馬県教育振興基本計画を策定することができた。

結果・成果を示す実績値	基準値(年度)	H26	H27	H28	H29	H30
教育委員会の点検・評価のA及びB評価の割合(%) ※26年度対象から評価方法を変更したため、「達成」又は「進捗」の割合(%)	A (18) B (80)	達成(0) 進捗(87)	達成(0.6) 進捗(92.0)	達成(1.3) 進捗(97.1)	達成(1.9) 進捗(97.1)	達成(4.5) 進捗(94.9)

今後の課題

- 第3期群馬県教育振興基本計画に基づき、各施策を推進すること。
- 第3期群馬県教育振興基本計画の点検・評価方法について検討すること。

平成31年度/令和元年度の方向

- 全県で共通した認識のもとで各施策を進められるよう、第3期群馬県教育振興基本計画の周知を徹底する。
- 点検・評価のプロセスの中で、各所属が自所属の取組を振り返り、次年度に生かすことができるよう、点検・評価の方法や様式について各所属や点検・評価委員の意見を踏まえて検討する。

教育委員会の取組に対する「群馬県教育委員会の点検・評価委員会」の主な意見

評価できる点

- ・ 5年間の取組において、高校の通級指導教室の実施や、知事部局と連携した高校中退者等支援といった様々な教育施策を実現したこと。

課題

- ・ 教育委員会の活動内容を県民に理解してもらえるよう、また、教育委員会を身近に感じてもらうよう広報の方法等を工夫すること。